

平成17年 3月17日

三次市長 吉岡 広小路 様

三次市行財政改革推進審議委員会  
会 長 橋 本 康 男

三次市 市民と行政の行財政改革基本理念についての提言

当審議委員会は貴職からの要請を受け、平成17年2月3日に発足して以来、計3回にわたって会議を開き、これからの三次市の行財政改革を考え、意見交換を重ねてきました。

この度、その結果をまとめ、市民と行政の行財政改革基本理念について提言します。また、検討過程での意見交換要旨を審議委員会委員からのメッセージとしてお伝えします。

貴職におかれましては、今後の行財政改革の取り組みに際し、本基本理念の提言とメッセージを反映され「未来の三次市民に夢の持てる地域を引き継ぐ」行財政改革の実行を要望します。

【三次市行財政改革推進審議委員会】

会 長 橋本 康男  
副会長 沖田 光治  
委 員 下森 宏昭  
委 員 堀江 斎  
委 員 桑原 謹二  
委 員 武田 三恵子  
委 員 藤越 智子  
委 員 安藤 由子  
委 員 村竹 裕弘  
委 員 國原 定明

# 三次市 市民と行政の行財政改革基本理念

**[ 透明，参加，選択 ]**

2005年(平成17年)3月17日

**三次市行財政改革推進審議委員会**

## 三次市 市民と行政の行財政改革基本理念

# [ 透明，参加，選択 ]

**透明**： 公明正大な行政のための徹底した情報公開  
- 馴れ合い，情実を排する意思決定過程への信頼性

**参加**： 現場主義の市民と行政の協働，組織風土改革  
- 市民と行政の協働（消防団型市民参加）  
- 風通しが良く職員の力と創意を生かす土壌（風と土の組織改革）

**選択**： 選択と集中のトータルバランス  
- 地域の明日のための選択と集中  
- トータルコスト意識（人件費，減価償却費，維持管理費等）

### **[ 行財政改革推進審議委員会からのメッセージ ]**

三次市行財政改革推進審議委員会では，これからの三次市の行財政改革を考えるために，基本理念をまとめました。それは，透明，参加，選択を柱とします。

何のための行財政改革か。それは，未来の三次市民に夢の持てる地域を引き継ぐために，今の私たちの責任をきちんと果たすことだと考えました。社会の不条理を正し，幸せな地域をつくるためには，限られた資源を本当に必要なことに有効に使う必要があります。行財政改革は，萎縮ではなく発展であり，理屈ではなく実行です。

行政には，何よりもまず「透明性」が求められます。行政運営・政策決定への信頼性を確保するためには，徹底した情報公開による公明正大な行政が必要です。

次に「参加」です。行政の原点は地域にあり，市民と行政が力を合わせて実現していくものです。市民の参加拡大と，自由で建設的な議論が求められます。私たちはこれを，消防団型市民参加と風と土の組織改革と呼びました。フルタイムの消防署と市民の消防団との関係，風通しの良い環境とプロの行政職員の力と創意を生かす土壌づくりです。

最後は，「選択」です。ここでは，トータルバランスという概念を提示しています。部分的な効率や効果ではなく，人件費や減価償却費，維持管理費も含めたトータルコストを意識し，地域の明日のための優先順位の判断に基づく選択と集中が必要です。

私たちは，市民参加の行財政改革により，優しく頼りになる機敏な行政を実現し，地域にある良いものを探し出し人々の力を伸ばす取り組みをしていきたいと思えます。

以下に、今後の行財政改革の取り組みのためのより具体的な考えを示します。

## 1．行財政改革の意味

(行財政改革のめざすもの)

### 地域の力を引き出す

行財政改革は、単なるコストダウンではなく、地域の力を活かすシステムづくりです。社会的支援の必要な人々に光を当て、社会の不条理をなくし、誰もが可能性を伸ばせる、優しく楽しく安心な、市民が誇れる社会づくりをめざします。

(行財政改革の必要性)

### 危機的財政状況の中での挑戦

地方自治体は危機的な財政状況にあります。あれもこれもではなく、明日の三次市に本当に必要なものは何かを議論し、限られた資源(人や資金)を効果的・効率的に活用することをめざします。既成概念の破壊と新たな創造が求められています。

(分権時代の地域づくり)

### 現場実践の中での変革

分権時代の地域づくりには、現場主義に基づき、理屈だけでなく具体的な行動の積み重ねが大切です。みずからの問題意識を大切にして、まずやってみようを合言葉に、スピードを重視して、できるところから柔軟に実践し変革していきます。

(議会の重要性)

### 議会の場での政策議論

議会は、市民の負託を受けた三次市の意思決定機関です。広い視野と豊かな識見を生かした、行財政改革推進のための市民に分かりやすい議論の場として大きな役割が期待されます。市民も、政策提案型の議員活動を応援します。

## 2．行財政改革の基本テーマ

**透 明**： 公明正大な行政のための徹底した情報公開

(公明正大な行政運営)

### 徹底した透明性の確保

市民と行政の協働の基本ルールは、透明性の確保と情報共有です。徹底した情報公開と行政手続きの簡素・迅速化により、隠しどころがなく、一握りの人が得をしたり馴れ合いや情実などのない、分かりやすく信頼される行政を推進します。

**参 加**： 現場主義の住民と行政の協働，組織風土改革

(市民との接点拡大)

### 市民と行政の協働

行政職員をフルタイムの消防署員に例えれば、市民には消防団員的な行政参加が期待されます。市民は地域づくりの共同責任者であり、お上頼みや行政の一方的サービス提供ではなく、自治組織やNPOなど市民と行政との協働を拡大します。

(風を吹かせる)

**風通しの良い組織**

役所の中の縦割りの壁と市長から担当者までの階層の壁,行政と市民との壁を破り,風通しの良い組織をめざします。

(土づくり)

**創意と挑戦の行政スタッフ**

良い仕事は良い土壌づくりから。職員の力と創意工夫を生かす環境づくりをめざします。プロ集団としての誇りを持ち,意欲と専門性の高い職員に期待します。

(身軽で機敏な行動力)

**スリムでフットワークの良い元気な行政**

少数精鋭で簡素な組織,事業部門重視と権限移譲,迅速な意思決定,個人の尊重とチームとしての責任感で,スリムでフットワークの良い元気な行政をめざします。

**選 択** : 選択と集中のトータルバランス

(地域の判断での選択と集中)

**目的重視の資源の重点投入**

限られた資源を有効に活用するために,地域の明日に本当に必要かどうか,目的と必要性を議論し,必然性に基づき資源の重点投入を徹底します。また,地域全体としての,バランスの取れた事業実施を考えます。

(分かりやすい総事業コストの明示)

**トータルコストでの事業評価**

人件費,減価償却費,維持管理費を含めたトータルコストでの費用対効果評価を行い,コスト意識重視の事業推進と,マンネリを排した大胆な事業廃止を進めます。

(外部化と内部改革の同時推進)

**民営化,外部化,内部改革**

民営化,民間委託,外部化等により競争原理に基づく効率化を図るとともに,市民の力の活用を図ります。また,合理的な受益者負担など,原資の拡大に努めます。

### 3. 明日のために

(地域の力を引き出す行財政改革)

**行財政改革がめざすものは地域の力を引き出す環境づくり**

住民にとっては,ありたい社会を考え参加し行動する環境づくり

企業にとっては: コストと制約要因を減らし競争力を高める環境づくり

職員にとっては: 行政の面白さとやりがいを感じられる環境づくり

(市民であることを誇りに思える行政)

**市民が三次市民であることを誇りに思える行政の実現のために**

市民と地域のために創意工夫をし,最大限の努力を積み重ねる行政を持つことは,市民の誇りです。批判より提案を重視し,長期的視点で共に築いていきます。